



認 定 書

国住参建第 1939 号
令和 6 年 9 月 18 日

ニチハ株式会社
代表取締役社長 吉岡 成充 様

国土交通大臣 齊藤 鉄夫



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 62 条並びに同法施行令第 136 条の 2 の 2 第一号及び第二号（防火地域又は準防火地域内の建築物の屋根）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
DR-1875-1(1)
2. 認定をした構造方法等の名称
砂付ガラス繊維入アスファルト系シート・アスファルト系ルーフィング・野地板〔木質系ボード又はセメント板〕表張／支持部材〔木製又は鋼製〕屋根
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。



素晴らしい人間環境づくり

ニチハ株式会社

管理番号 NICHHA・F-



(別添)

1. 構造名

砂付ガラス繊維入アスファルト系シート・アスファルト系ルーフィング・野地板〔木質系ボード又はセメント板〕表張／支持部材〔木製又は鋼製〕屋根

2. 形状及び寸法等

項 目	仕 様
表面形状	シート状
厚さ(mm)	11.9 $\pm$ 1.0以上（支持部材を除く）
傾 斜 角	0° ～70°

3. 材料構成

1) 主構成材料

(寸法単位：mm)

項 目	仕 様
葺き材	<p>砂付ガラス繊維入アスファルト系シート：</p> <p>(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) タイプA (別添－9 参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大きさ：$336.5_{\pm 5} \times 984_{\pm 10} \sim 1000_{\pm 10}$ ・ 厚さ：$5.6_{\pm 0.6}$ (凹部 $2.8_{\pm 0.3}$) ・ 質量：$1.27_{\pm 0.1} \text{kg/枚} \sim 1.7_{\pm 0.1} \text{kg/枚}$ ・ 質量(施工面積)：$8.9_{\pm 0.5} \text{kg/m}^2 \sim 14.2_{\pm 0.5} \text{kg/m}^2$ (有機質量 $3.13_{\pm 0.3} \text{kg/m}^2$ 以下) ・ 構成^{※1} <p>(2) タイプB (別添－9 参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大きさ：$333_{\pm 5} \times 1000_{\pm 10}$ ・ 厚さ：$2.9_{\pm 0.5}$ ・ 質量：$1.13_{\pm 0.1} \text{kg/枚} \sim 1.68_{\pm 0.1} \text{kg/枚}$ ・ 質量(施工面積)：$7.9_{\pm 0.5} \text{kg/m}^2 \sim 11.7_{\pm 0.5} \text{kg/m}^2$ (有機質量 $2.58_{\pm 0.3} \text{kg/m}^2$ 以下) ・ 構成^{※1} <p>(3) タイプC (別添－9 参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大きさ：$333_{\pm 5} \times 1000_{\pm 10}$ ・ 厚さ：$2.9_{\pm 0.5}$ ・ 質量：$1.13_{\pm 0.1} \text{kg/枚} \sim 1.68_{\pm 0.1} \text{kg/枚}$ ・ 質量(施工面積)：$7.9_{\pm 0.5} \text{kg/m}^2 \sim 12.3_{\pm 0.5} \text{kg/m}^2$ (有機質量 $2.58_{\pm 0.3} \text{kg/m}^2$ 以下) ・ 構成^{※1} <p>※1 構成</p> <ul style="list-style-type: none"> [1] 鉱物系粒子 <ul style="list-style-type: none"> …質量(施工面積)：$2.7_{\pm 0.3} \text{kg/m}^2 \sim 4.6_{\pm 0.3} \text{kg/m}^2$ 粒径：1～3 [2] 無機質系充てん材混入アスファルト <ul style="list-style-type: none"> …質量(施工面積)：$4.7_{\pm 0.5} \text{kg/m}^2 \sim 8.2_{\pm 0.5} \text{kg/m}^2$ 組成(kg/m²)： <ul style="list-style-type: none"> アスファルト…………… 1.6～2.9 無機質系充てん材(炭酸カルシウム等)… 3.1～5.7 [3] ガラス繊維マット <ul style="list-style-type: none"> …厚さ：0.3～0.5 質量(施工面積)：$0.15_{\pm 0.01} \text{kg/m}^2 \sim 0.4_{\pm 0.01} \text{kg/m}^2$ 組成(kg/m²)： <ul style="list-style-type: none"> ガラス繊維…………… 0.1 ～0.3 アクリル系樹脂バインダー…………… 0.05～0.13 [4] けい砂 <ul style="list-style-type: none"> …質量(施工面積)$0.3_{\pm 0.03} \text{kg/m}^2 \sim 0.7_{\pm 0.03} \text{kg/m}^2$、粒径 0.1～1 [5] 接着剤：無機質系充てん材混入アスファルト系 <ul style="list-style-type: none"> …質量(施工面積)：$0.05_{\pm 0.005} \text{kg/m}^2 \sim 0.3_{\pm 0.005} \text{kg/m}^2$ 組成(kg/m²)： <ul style="list-style-type: none"> アスファルト……………0.05～0.1 無機質系充てん材(炭酸カルシウム等)… 0～0.2

(寸法単位：mm)

項 目	仕 様
葺き材 (つづき)	<div> <div>[6] リリーステープ (養生テープ)</div> <div>ポリエチレンテレフタレート</div> <div> <div>・ 厚さ：0.01～0.015</div> <div>・ 質量：0.006$\pm$0.001kg/m²</div> </div> <div>但し、[1]～[6]を合わせた無機質の比率を78%以上とすること</div> </div>
接 着 剤 (葺き材用)	<div>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</div> <div>(1) アスファルト系^{※2}</div> <div> <div>・ 質量：5$\pm$0.5g/箇所(固形量)以下(有機質量3$\pm$0.3g/箇所以下)</div> <div>・ 組成(質量%)： <div> <div>アスファルト ……40～60</div> <div>鋳物質 ……40～60</div> </div> </div> </div> <div>※2 葺き材一枚につき最大5箇所塗布する</div> <div>(2) なし</div>

(寸法単位：mm)

項 目	仕 様
下 葺 き 材	<p>アスファルト系ルーフィング：(1)～(5)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) アスファルトルーフィング(JIS A 6005)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位面積質量の呼び：940（有機質量940g/m²以下） ・上下方向重ね幅：100～600 ・左右方向重ね幅：100～250 ・最大重ね枚数：4枚 <p>(2) アスファルトルーフィング(JIS A 6005)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位面積質量呼び：1500（有機質量1500g/m²以下） ・上下方向重ね幅：100～600 ・左右方向重ね幅：100～250 ・最大重ね枚数：4枚 <p>(3) 改質アスファルトルーフィング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位面積質量：2300g/m²以下（有機質量2200g/m²以下） ・構成（1枚あたり） <ul style="list-style-type: none"> [1] フィルム （1）、(2)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> (1) ポリプロピレン系樹脂フィルム <ul style="list-style-type: none"> …質量（施工面積） 15g/m²～50g/m² (2) なし [2] 鉱物質 …質量（施工面積） 100_{±10}g/m²～300_{±0.3}g/m² [3] 基材 （1）～(3)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> (1) 原紙 …質量（施工面積） 20_{±2}g/m²～160_{±2}g/m² (2) 合成繊維補強紙 …質量（施工面積） 20_{±2}g/m²～160_{±2}g/m² (3) ポリエステル不織布 …質量（施工面積） 20_{±2}g/m²～160_{±2}g/m² [4] アスファルト（粘着系アスファルトを含む） <ul style="list-style-type: none"> …質量（施工面積） 1300_{±100}g/m²～2000_{±100}g/m² うち改質剤（スチレン系熱可塑性エラストマー）：10.0質量%以下 ・上下方向重ね幅：100～600 ・左右方向重ね幅：100～250 ・最大重ね枚数：4枚 <p>(4) 改質アスファルトルーフィング（JIS A 6013）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位面積質量：2300g/m²以下（有機質量2000g/m²以下） ・上下方向重ね幅：100～600 ・左右方向重ね幅：100～250 ・最大重ね枚数：4枚 <p>(5) 改質アスファルトルーフィング（JWMA規格 ARK 04^S）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位面積質量：2300g/m²以下（有機質量2000g/m²以下） ・上下方向重ね幅：100～600 ・左右方向重ね幅：100～250 ・最大重ね枚数：4枚

(寸法単位：mm)

項 目	仕 様
野 地 板	<p>①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①木質系ボード：Ⅰ～Ⅴのうち、いずれか一仕様とする</p> <p>Ⅰ. 普通合板(JAS)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 厚さ：9_{±0.5}以上 <p>Ⅱ. 構造用合板(JAS)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 厚さ：9_{±0.5}以上 <p>Ⅲ. 構造用パネル(JAS)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 厚さ：9_{±0.5}以上 <p>Ⅳ. 素地パーティクルボード(JIS A 5908)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 厚さ：9_{±0.5}以上 <p>Ⅴ. MDF(JIS A 5905)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 厚さ：9_{±0.5}以上・ 密度：0.7以上 <p>②セメント板：Ⅰ～Ⅲのうち、いずれか一仕様とする</p> <p>Ⅰ. 木毛セメント板(平成12年建設省告示第1401号)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 厚さ：15以上 <p>Ⅱ. 硬質木片セメント板(平成12年建設省告示第1401号)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 厚さ：12以上 <p>Ⅲ. 木片セメント板(平成12年建設省告示第1401号)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 厚さ：30以上
支持部材	<p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 木製</p> <ul style="list-style-type: none">・ 形状寸法：□－20×30 の断面寸法以上・ 間隔：606 以下 <p>(2) 鋼製</p> <ul style="list-style-type: none">・ 形状寸法：①、②のうち、いずれか一仕様とする① □－60×30×10×1.6 の断面寸法以上② □－60×30×1.6 の断面寸法以上・ 間隔：606 以下

2)副構成材料

(寸法単位：mm)

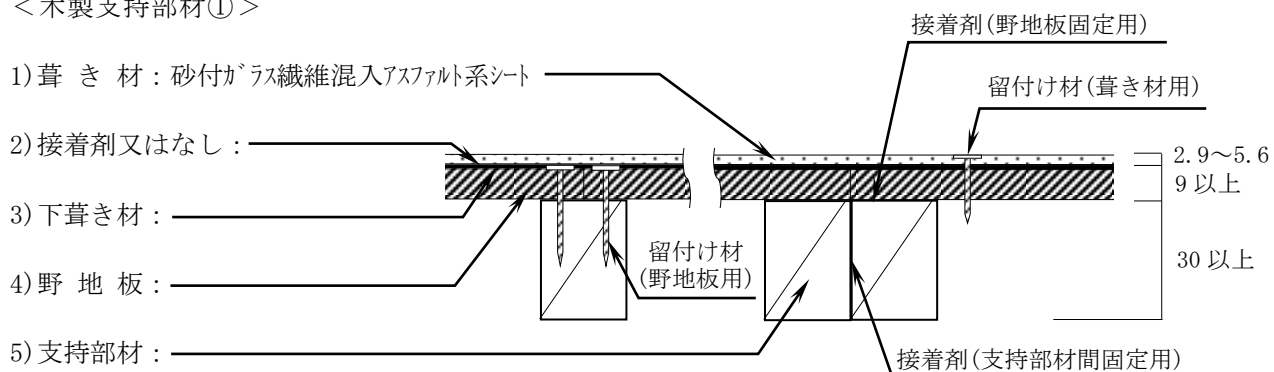
項 目	仕 様
留 付 け 材	<p>[1]葺き材用：(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：①、②のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> ①鉄製 ②ステンレス ・寸法：φ1.7以上×L25以上 ・留付け数：4箇所～6箇所 <p>(2)シングルくぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：①、②のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> ①鉄製 ②ステンレス製 ・寸法：φ2.9以上×L25以上 ・留付け数：4箇所～6箇所 <p>(3)ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：①、②のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> ①鉄製 ②ステンレス製 ・寸法：φ2.1以上×L16以上 ・留付け数：4箇所～6箇所 <p>[2]野地板用：(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：①、②のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> ①鉄製 ②ステンレス ・寸法：φ1.7以上×L25以上 ・間隔：500以下 <p>(2)ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：①、②のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> ①鉄製 ②ステンレス製 ・寸法：φ3.5以上×L25以上 ・間隔：500以下 <p>(3)なし (木製支持部材を接着剤で固定する場合に限る)</p>

(寸法単位：mm)

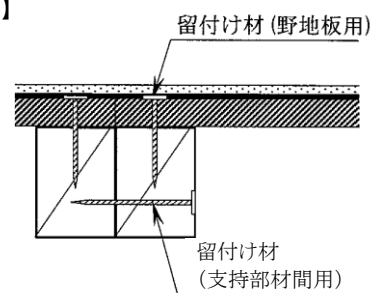
項 目	仕 様
留 付 け 材 (つづき)	<p>[3] 木製支持部材間用：(1)，(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) くぎ</p> <ul style="list-style-type: none">・材質：①，②のうち、いずれか一仕様とする①鉄製②ステンレス・寸法：φ2.75以上×L50以上・間隔：500以下 <p>(2) なし (支持部材を接着剤で固定する場合または支持部材が(2)の場合に限る)</p> <p>[4] 下葺材固定用：(1)～(5)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) ステープル</p> <ul style="list-style-type: none">・材質：①、②のうち、いずれか①ステンレス鋼製②鋼製・寸法：内幅9.6以上、足長さ6以上 <p>(2) ブチルゴム系防水テープ</p> <ul style="list-style-type: none">・質量：125_{±10}g/m以下・厚さ：1.0_{±0.2}以下・幅：100以下 <p>(3) アクリル系樹脂防水テープ</p> <ul style="list-style-type: none">・質量：80_{±5}g/m以下・厚さ：1.0_{±0.2}以下・幅：100以下 <p>(4) ゴムアスファルト系防水テープ</p> <ul style="list-style-type: none">・質量：90_{±5}g/m以下・厚さ：1.0_{±0.2}以下・幅：100以下 <p>(5) なし</p>
接 着 剤 (木製支持部材用)	<p>[1] 野地板固定用：(1)，(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) エポキシ系樹脂……質量400g/m²(固形量)以下</p> <p>(2) なし(留付け材で固定する場合に限る)</p> <p>[2] 支持部材間固定用：(1)，(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 酢酸ビニル系樹脂…質量350g/m²(固形量)以下</p> <p>(2) なし(留付け材で固定する場合に限る)</p>

4. 構造説明図（寸法単位：mm）

<木製支持部材①>

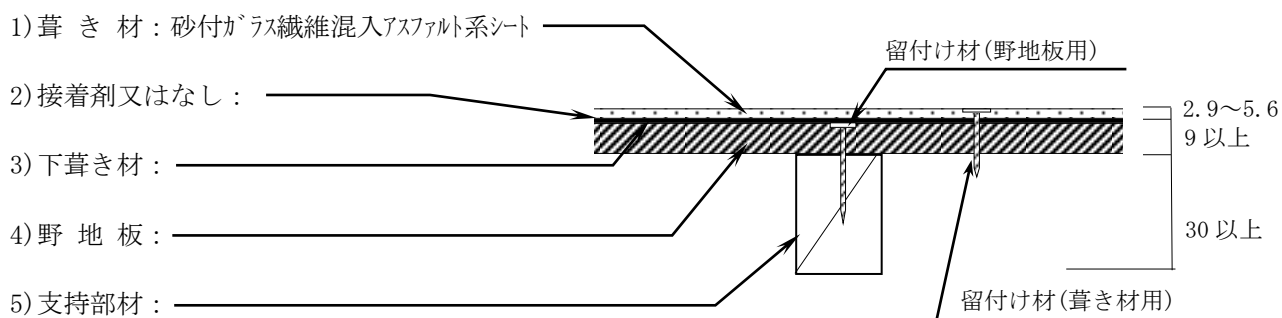


【接着剤で固定する場合】

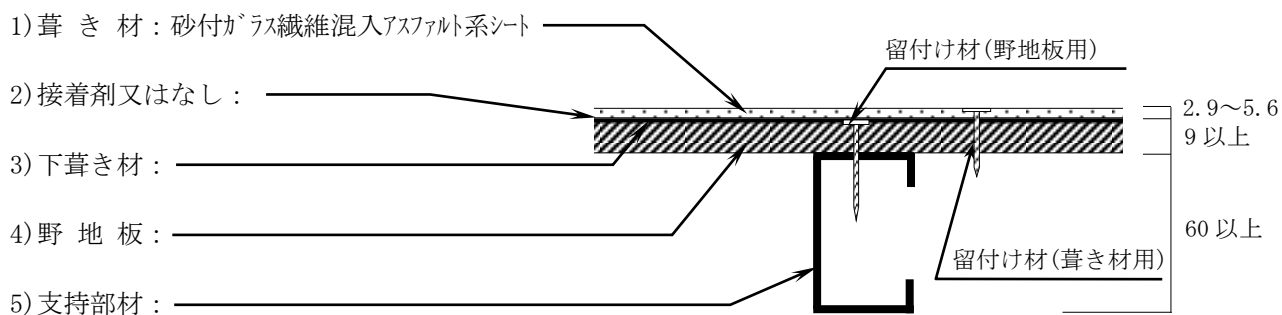


【留付け材で固定する場合】

<木製支持部材②>



<鋼製支持部材>

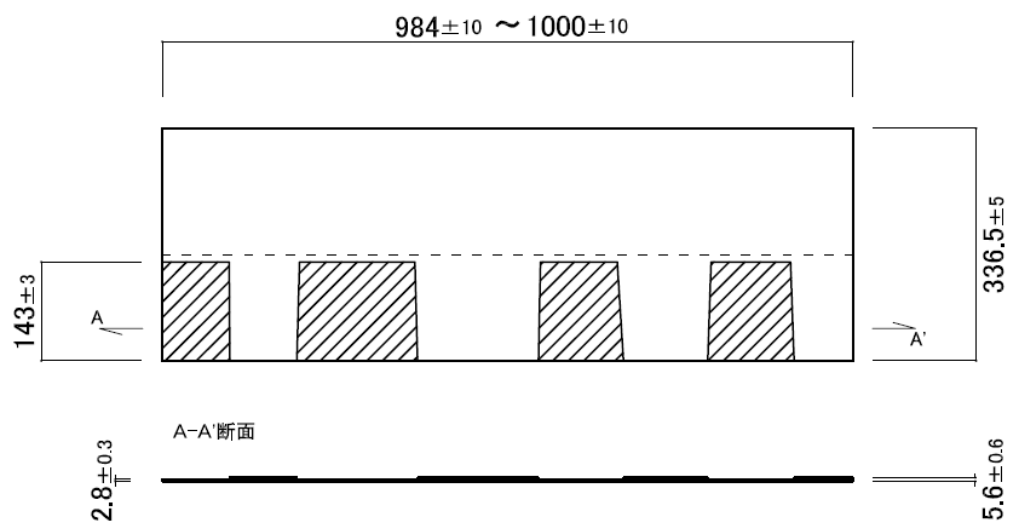


注）寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

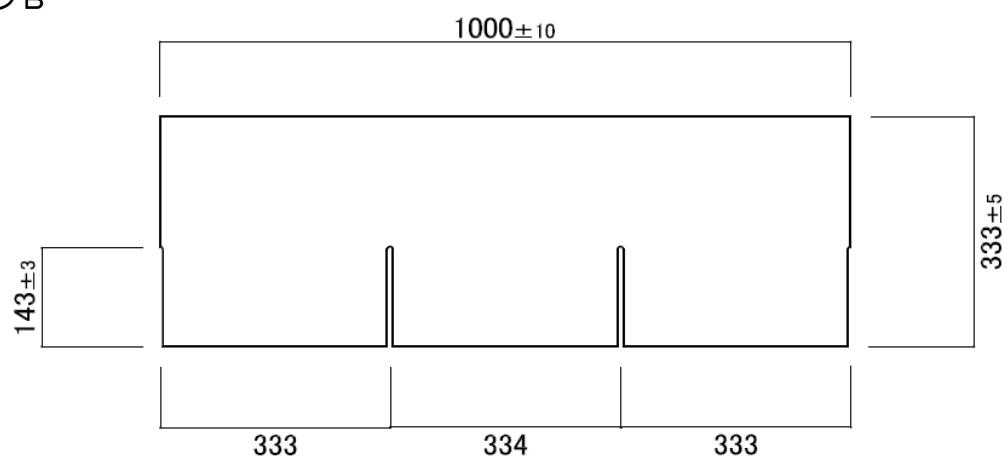
(寸法単位：mm)

< 葺き材形状図 >

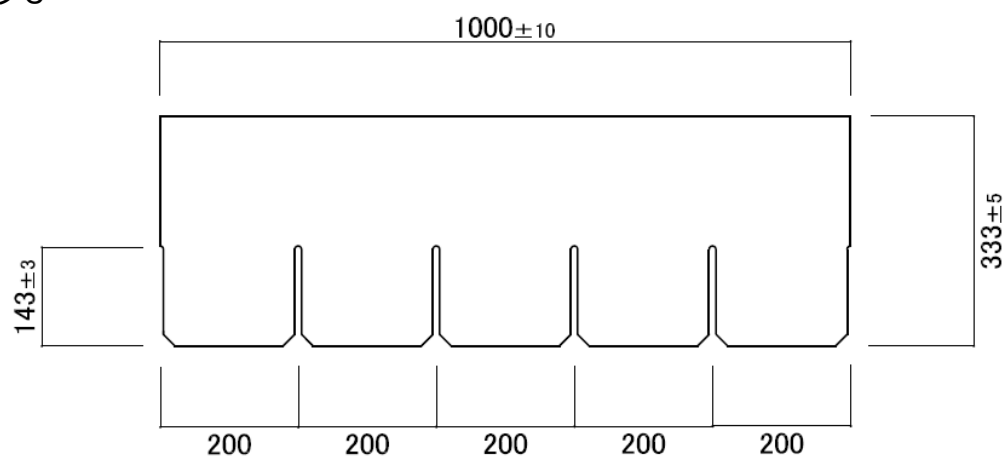
タイプA



タイプB



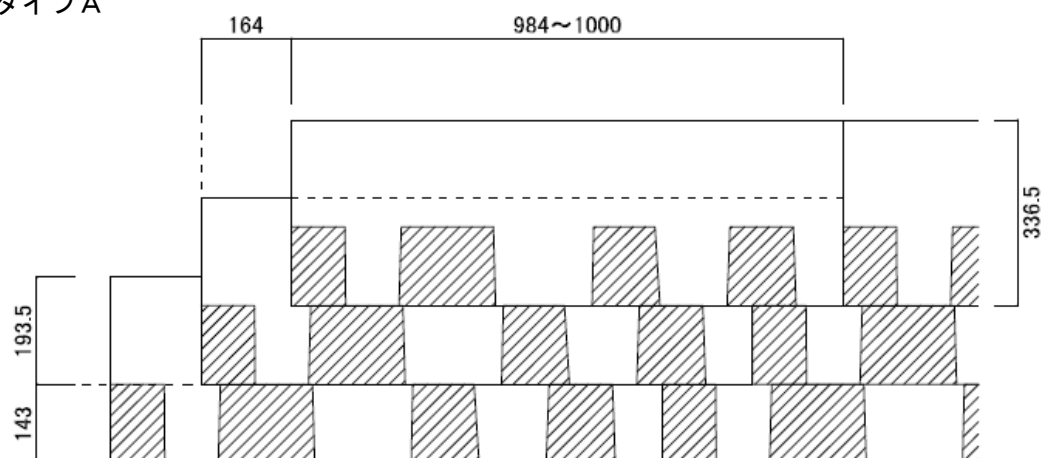
タイプC



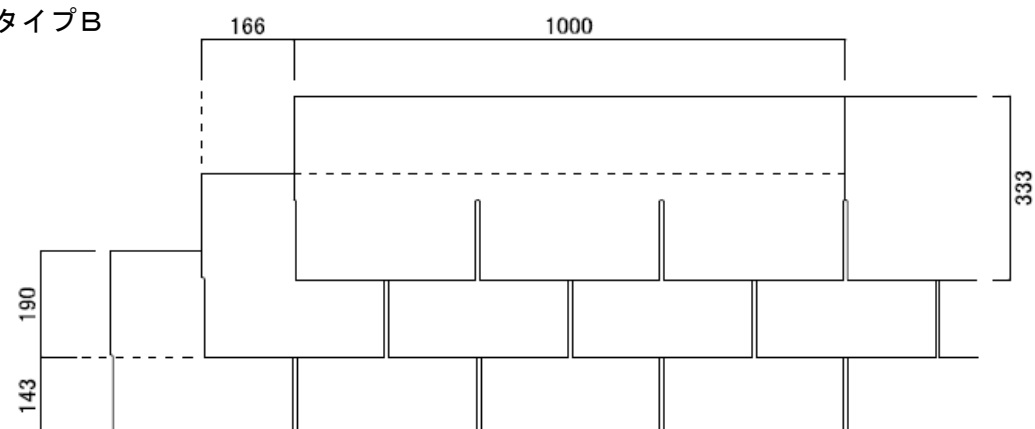
(寸法単位：mm)

<重なり寸法図>

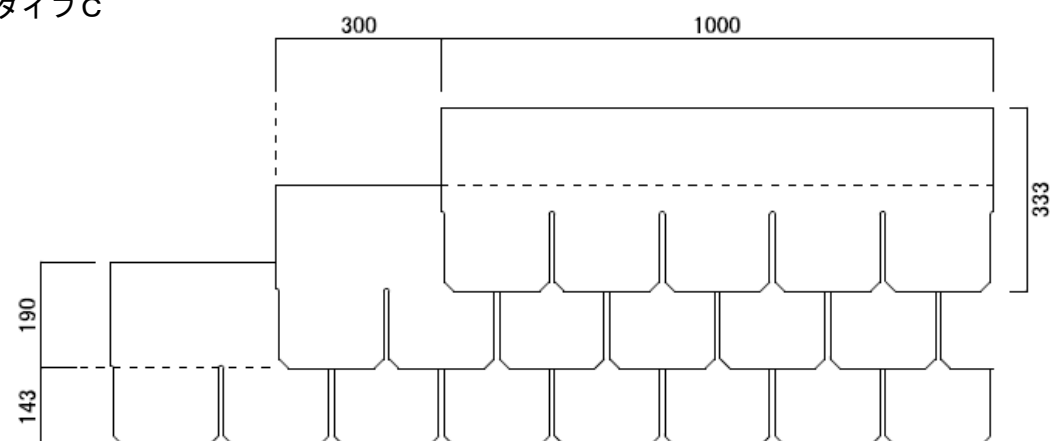
タイプA



タイプB



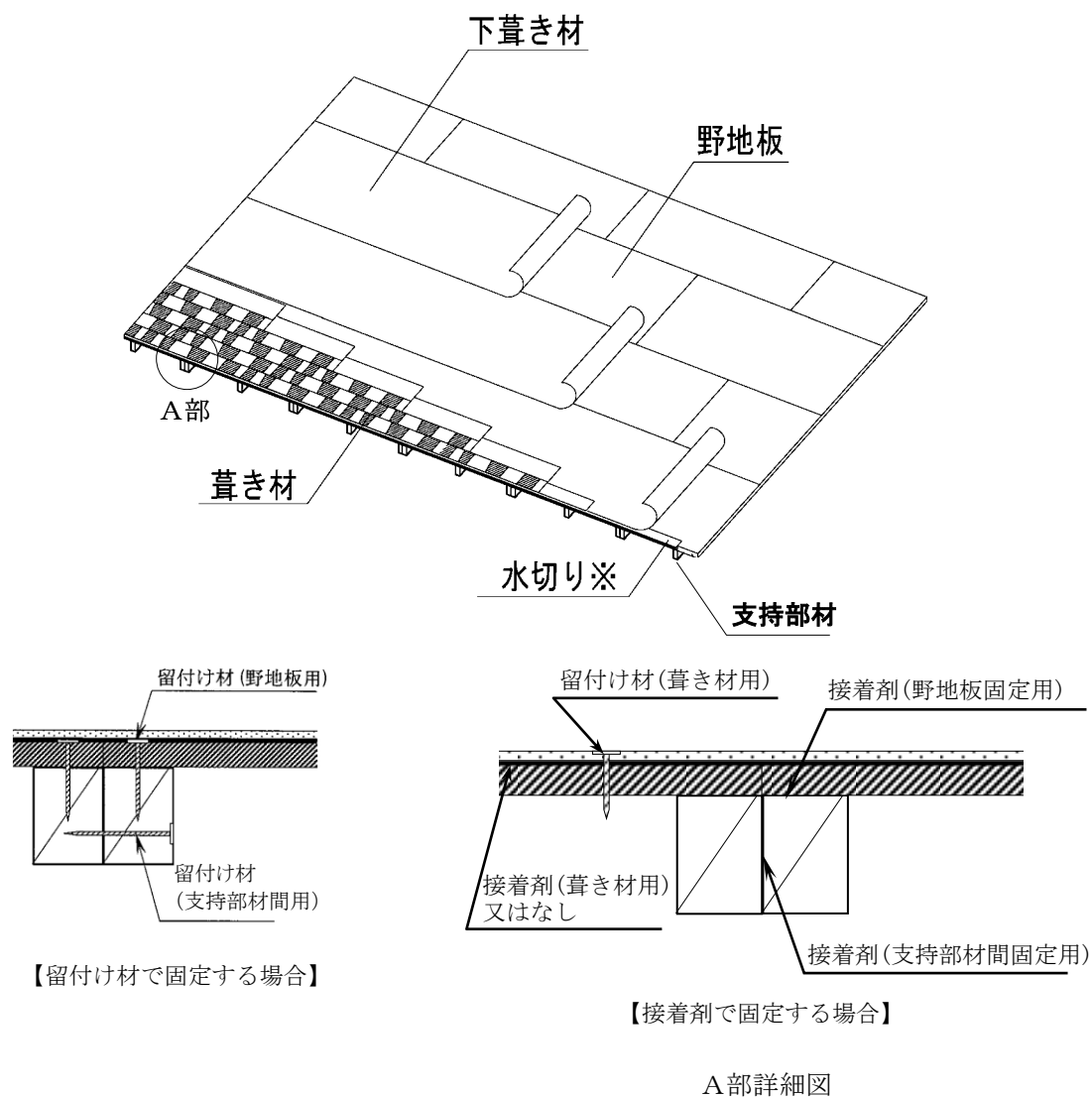
タイプC



5. 施工方法等

< 施工図 >

◆木製支持部材①



< 施工手順 >

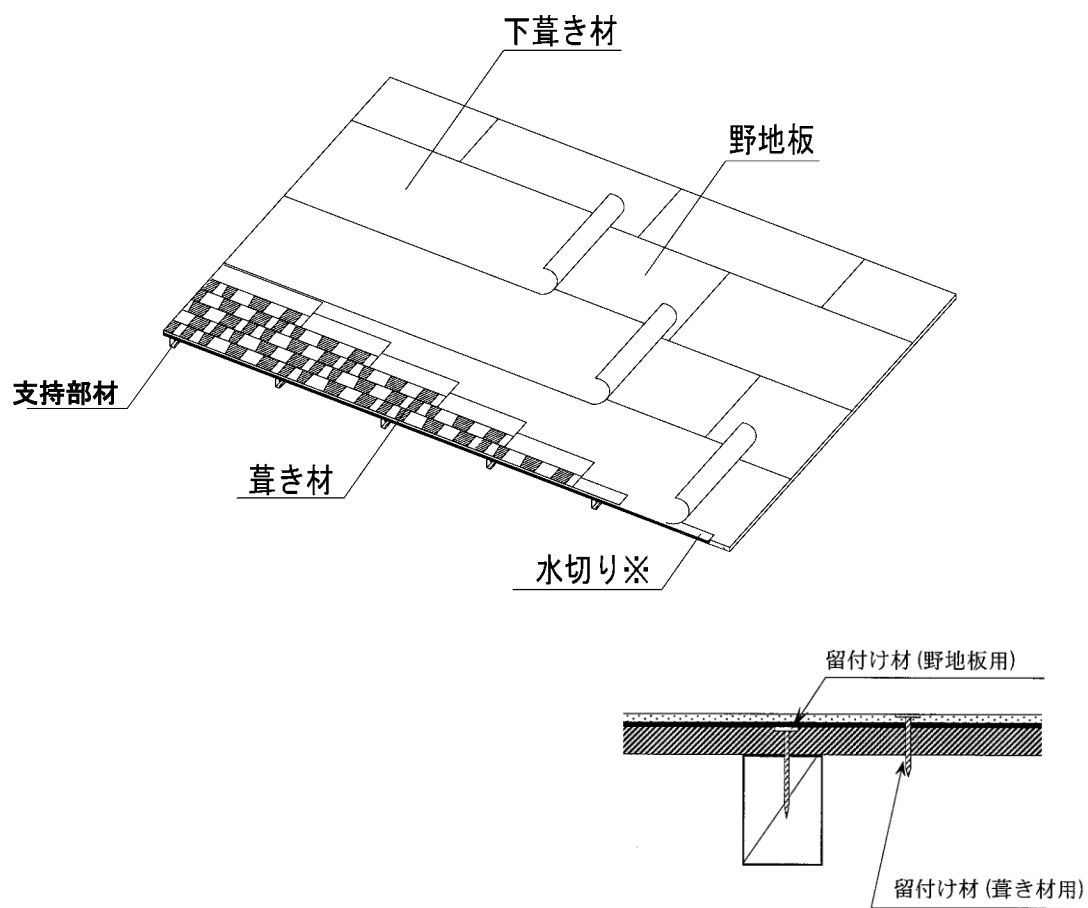
- ①支持部材を定められた間隔で施工する。
支持部材同士の接合部（A部）は、接着剤又は留付け材にて支持部材同士を固定する。
- ②野地板を敷きつめ、接着剤又は留付け材で支持部材に固定する。
但し、支持部材同士の接合部（A部）以外では、留付け材にて固定する。
- ③下葦き材を敷きつめる。
- ④接着剤を葦き材の中段に塗布する。但し、葦き材を留付け材のみで留付ける場合は塗布しない。
- ⑤葦き材を留付け材で留付ける。

注）寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

＊：本評価内容に含まない。

<施工図>

◆木製支持部材②



A部詳細図

<施工手順>

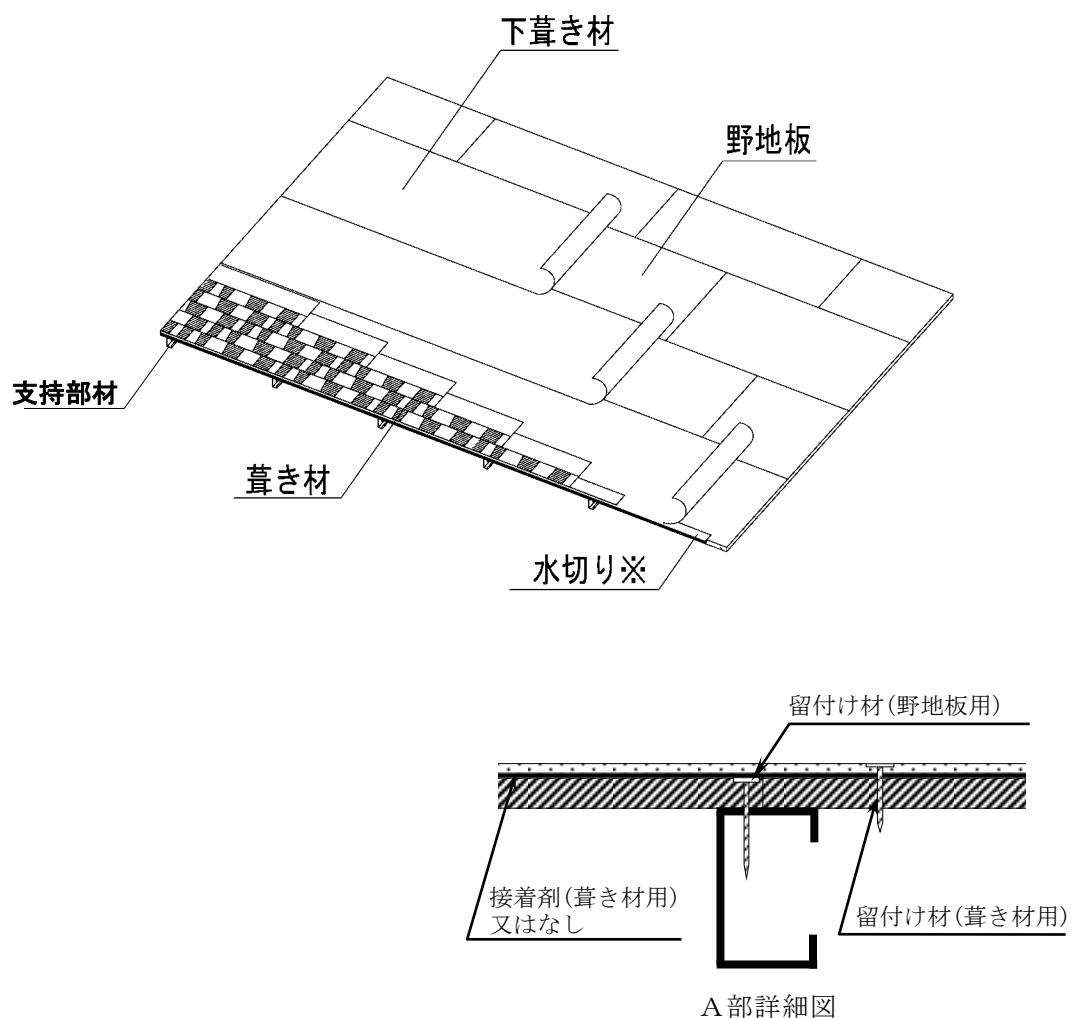
- ①支持部材を定められた間隔で施工する。
- ②野地板を敷きつめ、留付け材で支持部材に留付ける。
- ③下葎き材を敷きつめる。
- ④接着剤を葎き材の中段に塗布する。但し、葎き材を留付け材のみで留付ける場合は塗布しない。
- ⑤葎き材を留付け材で留付ける。

注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

* : 本評価内容に含まない。

<施工図>

◆鋼製支持部材



<施工手順>

- ①支持部材を定められた間隔で施工する。
- ②野地板を敷きつめ、留付け材で支持部材に留付ける。
- ③下葦き材を敷きつめる。
- ④接着剤を葦き材の中段に塗布する。但し、葦き材を留付け材のみで留付ける場合は塗布しない。
- ⑤葦き材を留付け材で留付ける。

注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

※：本評価内容に含まない。